

たずねてみたら

No.85

元気な高齢者

孫にも負けない
ゴルフの腕前

桑島七郎さん (88歳)

橋爪1区



「元気のもとは。16才(昭和十八年)の時、志願兵として土浦海軍航空隊に入隊。間もなく青森の三沢航空隊に移り、その間グライダーでの訓練や寒い中でのスキー・スケートには苦労しました。その頃コンマーク体操(柔軟体操)を覚え、三沢で終戦を迎えました。が、今でも体操は続けています。食べ物には好き嫌いはなく、好物の肉と魚を交互にバランス良く適量を食べています。タバコはやらす、病気を知らずです。一楽しみや思い出は。六人の孫と五人のひ孫がいま。ゴルフが趣味で、自分の運動で県内外のゴルフ場へ行きます。成長した孫たちとのゴルフは格別で自慢です。腕前は私の方が勝つ

ています。孫たちは力まかせだ。海外旅行には60回程行きました。ライオンズクラブ員だったので、台湾が多いです。(台湾にはライオンズクラブがあり会議が開催されたため)私は風景が好きでニュージランドやスイスの美しい景色が特に脳裏に焼きついています。84才の時、マチュピチュ行きをもって海外旅行は終わりにしました。これから。子どもたちには、出来るだけ迷惑をかけないようにしたい。朝食は自分でジュースを作り、昼は外食、夕食は家族と共にしているが、今後運動と食事を大事にして過ごしていきたいです。



▲「ブンブン」に集中



▲マイクリアケースを作る

「ものづくり・食事づくりわくわく体験」が、八月十七日支部会館で行われた。参加者は二十三人。身近にある紙を利用したものづくりには、金魚のモビールづくり、自分の好きな絵柄を貼ってオリジナルのクリアホルダーづくり、大きなボタンや木片を使って「ブンブン」等を作った。自分で作ったおもちゃで遊ぶことのない子どもたちは、めずらしそうに「ブンブン」のつくり方や鳴らし方を係のおじさんに聞いていた。

「おかわり」が大勢いた。屋敷は皆で協力して作ったカレーライス。おいしくできたので「おかわり」が大勢いた。スイカを食べたあと、大塚松寿さんのマジックショーだ。次は何が出てくるのか、大塚さんの手に注目。細かく切ったはずのピンクの紙が、かわいい帽子になって出てきた。帽子は一年生の矢作杏奈ちゃんももらった。さっそくかぶってニコニコ笑ってみせた。

安心安全の地域づくりをめざして

地区懇談会



▲大田町コミュニティセンターで7月6日

変わる世の中の事件事故

ー参加してよかったの声多くー

「住民が安心して暮らせる地域を考え、次代を担う青少年に健全な社会を残そう」と、「地区懇談会」が六月二十一日上町を皮切りに七月十二日

星山を最後に十四地区をまわり、延べ三十三人が参加し行われた。講師として、警察OBの大塚松寿氏、雨谷高市氏や消費生活センター、笠間市総務課にお願いし、振り込め詐欺防止・交通安全対策や自主防災等について、お話をいただいた。

☆講師のお話から(抜粋)

○振り込め詐欺被害者は女性高齢者に多く、犯人は息子や孫を語り上手に金を要求する。一人で考えないで家の人に相談すること。

○「携帯」「スマホ」等によるトラブルも多く、子どもさんの使用には充分注意を。

○高齢者の交通事故(加害・被害共)が急増中。事故を起こさない(遭わない)ためには、違反行動

をしない、運転するには自分の性格を知ってほしい。○自分たちの地域は自分たちで守ること。日頃から地域の人の交流を深めていきたい。

学校からは、宍戸小・友部中・友部高の先生方が出席された。共に学校生活は落ち着いて学習に取り組んでいる事や、地域の皆様の時間に合わせた見守りに感謝、お気付きのことがあったら知らせしてほしい。今後もしよろしくお願したい。などの事が話された。

警察OBの大塚さんは、講話の合間にマジックを披露し、会場をなごませてくれた。

五十七人の参加があった大田町コミュニティセンターでは、「私は発言はしませんでした、皆さんの話を聞いて、詐欺の事も詳しくわかったためになりました。来てよかったです。」と若いお母さんが話していた。

お母さんとお買物 福祉バザー

宍戸小学校運動会に合わせ五月二十四日福祉バザーが体育館で行われた。バザー開始の放送がされると同時に多くの人が、入口で渡された買物用大袋を持って、売場へと急いだ。食品、日用品売場はすぐに人だかり。市価の半値以下の値札がついた品を次々と袋に入れていた。

中央に置いた小物売場には、子ども向けの品も沢山並んだ。休憩時間なのか大勢の子どもたちが、売り場につけ、お母さんに入りの品を見つけて、お母さんにおねだりをしていた。



▲「社会福祉」を理解できる日が...

自分で作った昔のおもちゃ「ブンブン」に興味しんしん

牛久市の 地区社協を訪ねて

福祉推進員の研修

福祉推進員の視察研修が九月二十六日に行われた。参加者は四十三人。牛久市社協牛久小学校地区地区社協をたずねた。

都心まで五十キロ圏内に位置する牛久市は女性（20～39才）の減少率は低く、子育てしやすいまちとされている。一方で高齢化が顕著な地区もあり、地域の特性を見てもの活動がなされている。

地域の皆さんの理解と協力がなければ進められないのが実状。地区社協では、65才以上になる方の第二の人生を祝う「盛人式」等を

行い、仲間を作り、生きがいを見出しながら、福祉活動に無理なく参加出来るように工夫されていることや災害時自力で避難所に行けない要援護者のリストを作成し、災害時の介抱者も決められている事などが話され、参加者の皆さんは感心して聞き入っていた。

参加者の感想からは、参考になることが多かったという声が多く聞かれた。



▲活発な質疑応答

第25回 GROUND GOLF in 北山



▲個人の部 1位 永山きみ子さん
2位 楠原千広さん 3位 永井淑子さん

表彰者(敬称略)

☆個人の部

1位	永山きみ子	旧陣屋3区	37点
2位	楠原 千広	橋爪1区	37点
3位	永井 淑子	旧陣屋3区	37点

☆団体の部

1位	橋爪いきいきクラブA	116点
2位	旧陣屋末広B	126点
3位	大田町第1高齢者クラブA	129点

第二十五回高齢者グラウンドゴルフ大会が、六月四日北山グラウンドで開催された。参加選手は二十六チーム八十二人。日頃の練習の成果を発揮した。

個人の部では三人が同点で、白熱した順位決定戦が展開された。

グラウンドコンディション

もよく、ホールインワンは七人が決めた。グラウンドゴルフは今日で二回目、実戸では初めてという下加賀田の菅野洋子さんは「とても楽しかった、次回はもっと練習をしてよい成績をとります」と力を込めて話していた。

まちの声・むらの声

多くの人の出合いがあり、各種の研修を受けた。今迄経験したことのない知識を無理に頭に押し込め勉強している毎日です。

最近の研修で感銘を受けた講義の一部を紹介してみます。常磐大学の森猛講師の話の中で配布された新聞の写しで「愛は脳を大きくむ」の一節、人は幼児期に愛を十分に受けて育っていないと、人や社会に対する恐れを持つ。自分がやりたいようにしたら、人や社会から受け入れてもらえないとこらえるので、人や社会の価値尺度から自分の価値を押し量る。すなわち他者依存

的な人格が根底に形成される。これに対し、幼児期に愛を十二分に受けて育った人は、自分が好きなことを好きなように取り組むことを恐れず、楽しめる自立した人となる。愛と自立は表裏一体である。自立人の頑張りには、キレることがない。とある。

民生委員・児童委員として、地域の方々と共に、愛情を持ってこれからの高齢化社会、児童を支えていきたいと思っています。



旧陣屋2区
幾浦正道

民生委員・児童委員を受けて

夏の思い出

（スナッグゴルフ全国大会に出場）
八月九日



大田町2
磯貴太郎

ぼくたち大田小学校スナッグゴルフチームは、仙台ヒルズゴルフクラブで行われた全国大会に出場しました。笠間市の予選大会を五位で通過し、全国への切手を手に入れました。

全国大会では、きんちようしましたが自分たちの課題だった「落ちていてプレーすること」を心がけて、全国七位の良い結果を残すことができました。

スナッグゴルフの大会に参加して、どんな場面でも落ち着いて取り組むことの大切さを学ぶことができました。前のホールでスコアが良くなっても、気にせず今やっているホールだけに集中すること、自分のプレーができました。

良い成績が残せたのは、すばらしい仲間とコーチ、先生方やたくさんのおかけです。この夏一番の思い出になりました。



▲両親や祖父母から聞かされた話を語る寺内寛さん

天狗党を追う

友部公民館主催、社協実戸支部共催による「友部地区地域事業、歴史を学ぶ」天狗党の乱水戸・笠間方面」が9月17日（水）に行われ28人が参加した。今回も南秀利先生を講師に招き一路水戸方面に向かった。

水戸市立博物館では折しも特別展「天狗党筑波山拳兵から一五〇年」幕末から明治へ・水戸藩に吹き荒れた嵐」が開催されており天狗党、諸生党の行動を追った写真が揃って展示され、それぞれの立場で辿った軌跡を勉強した。

その後、実戸藩主松平頼徳公をはじめ安政の大獄から戊辰戦争までの水戸勤王殉難志士ら約千八百余柱を祭神とする回天神社を参拝、武田耕雲斎らが京都にあって禁裏守衛総督を務めていた一橋慶喜を頼り西上したが目的を果たせず加賀藩に降伏、幕府軍に引き渡され押込められ処刑された「鯉蔵」などを見学した。

午後には幕府討伐軍総督田沼意尊が本陣を置いた笠間市の月崇寺を見学したのち岩間地区土師にある淡島神社を訪れた。ここでは、当地出身の寺内寛さんから「昔、両親や祖父母からこの神社の裏（明神山）で天狗党の田中愿蔵と鯉蔵村の自警団（鯉勢勢という）が合戦、庄屋以下6名が即死、5名が負傷し、26軒の家々が焼かれたと聞きまし」と話された。

参加された人は、皆熱心に耳を傾け、墓碑の文字を真剣に覗き込む等全員が歴史研究家のようであった。

（羽生記）

ものづくり・食卓づくりわくわく体験

（小四）

今日、一番楽しかったことは、ブンブンとモビール作りです。ブンブンは最初、あまりうまくできなかったのですが、大人の方に教えてもらい、できるようになりました。

最近、ゲームなどの遊びが多

しい仲間とコーチ、先生方やたくさんのおかけです。この夏一番の思い出になりました。

（六年 山田珠李亜）

（三年 鈴木 輝）